

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所理念を掲げて実践し、定期的に振り返りを行い、共有をしている。			定期的に理念について話し合い管理者と職員と共有しながら新たなステップの理念も検討できるようにしていきたい。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域との関わりが少なく、運営推進会議を通して地域とのつながりを作ることが必要。	・町内との関わりはどうなっていますか？以前とは町内会長は変わっています。変わっています。 ・今後も取り組みを継続していく中で他の同じサービス事業所とも関わりを持ってはどうでしょうか？		町内とは関りが出来ていない現状です。意見にも挙がっている通り、町内会長と関りを持ったり、他サービスとの関りももてるよう努めていきたい。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの影響もあり、意見の聴取を行い、議事録の送付を行って、できる限り意見を反映できるように努めている。	野外や駐輪場での開催を検討してみてもは。		コロナの感染状況を鑑みながら、介護事業部と検討していきたい。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議の議事録や事故の報告にて担当者と直接かかわりを持っている。その時に問題等あれば共有している。			ご利用者の相談や書類の提出時等で話す機会があり、顔なじみの関係を構築できるようにしていく。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束については話し合いを行うとともに禁止事項を周知、実践をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	カンファレンスなどで身体拘束について話す機会を設け職員の意識の向上を図りたい。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人全体で研修の機会を設け、それぞれの事業所で共有を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	社内研修やカンファレンスで話し合いを行い、日ごろの不適切であろう行動や行動を記録し職員と共有をし、今後も虐待の防止を徹底していきたい。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人で研修の機会はあるが事業所での周知は不十分で理解度は低い。			知る機会が少ないが社内・外問わず研修の機会があれば参加していきたい。

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの影響もあり、契約の改定時などの説明で電話での説明が増えている。			契約締結時・改定時だけでなく、日ごろから契約に関する事柄について理解と納得が得られるように努める。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議に代わる書面での意見の聴取を行っているがなかなか意見が表面化していないこともあると感じている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	要望や意見を反映できるよう話し合いを行って行く。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月1・2回カンファレンスを行い、意見等を聞きできる限り反映できるようにしている。			カンファレンスの中で職員の声を拾って、積極的に反映していけるようにしていきたい。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に2回評価し面談をする機会を設け職員のモチベーションアップに努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な面談だけでなく、常に職員の特徴などを伝え良いところはベースアップできるように、課題は一緒に解決できるように意識していきたい。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内の研修についてはとても活発に行われているが外部への研修については消極的である。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内部の研修については現状では動画を通じて、外部の研修については管理者・リーダーだけでなく職員にも情報提供を行って行く。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの影響もあり、内部・外部問わず、関係者との接触は控えている。			同業者とのネットワークが少ない為、コロナの状況を踏まえながら積極的にアプローチしていけるようにしたい。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活においてできることはご自分で行ってもらう、職員から声をかけたり積極的にホームの用事を手伝ってもらっている。			積極的に行ってくれる方以外でも家事に参加できる声掛けを意識し、自然に暮らしを共にできる環境を作りたい。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	直接の面会の機会はなく、なかなかご利用者の想いに添えない部分もあるが工夫しながら少しでも顔を見てもらったり、声を聴いていただけるように努めている。	家族以外の友人や知人、近隣住民との面会も取り入れてほしい。		コロナの状況を鑑みながら検討していきたい。

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	聞き取ることのできる思いについてはできる限り反映できるように努めている。			ケアプランの立案時、センター方式の作成時に出来る限り利用者の希望や意向を聞けるようにしていく。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族はもちろんの事、医療職から意見を聴取して介護計画に反映できるようにしている。	ケアの相談がほとんどありません。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアプランの作成時に意見等を聞くようにしているが、日ごろのことももっとご家族に相談して一緒に利用者のケアを検討していきたい。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	記録に記入することと、ケアカンファレンスの実施により共有や見直しを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	記録や申し送りノートなどで普段の様子を共有し、カンファレンスで話し合い、プランの立案に生かしたい。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	既存のサービスによることが多くなかなか柔軟に対応が出来ていない。			他事業所や行政と関りを増やしていく中で情報をもっと広い新たな支援に取り組めるようにしていきたい。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内での力の維持・発揮は行うようになっているが、地域資源の活用についてはなかなか現状では行えていない。			地域資源についても他事業所や行政との関りや情報を収集していきたい。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医は本人や家族の希望で決定している。また、訪問看護と連携をとりながら適切な医療をうけることで来ている。			今後も継続して、利用者にあった医療を受けることができるように努めていきたい。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院先の相談員と積極的に連絡を取りながら適切な時期で退院が出来るようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時の関りだけでなく、常に近隣の医療機関と連携を取れるような取り組みを検討していきたい。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明し	A. 十分にできている B. ほぼできている	契約時に説明を行い、時期が来たら往診医や看護師を交えて重度化や終末期のあり方について話をしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている	定期的に利用者の状態を伝えその時その時の対応とならないようにしていきたい。

		ながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	C. あまりできていない D. ほとんどできていない			C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人の研修に参加したり、カンファレンスの中で実践力を養うようにしている。			研修を行うことで技術を底上げできるように心がけていきたい。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災・地震・風水害についてはマニュアルを作成し、訓練を通じて備えている。地域との連携について強化が必要である。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	マニュアルに基づいて、緊急時等に対応できるように職員と共有していく。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	カンファレンスで共有して、不適切なケアにつながらないように常に話し合いを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者個々の人格について常に損なうことがないように職員と意識しながらケアを行うことができるよう意識付けをしていきたい。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアプランを活用し、本人の暮らしの意向やペース等を共有しながらできる限り職員の都合を優先しないようなケアに努めている。			ケアプランの立案時にいろいろなツールを使用しながらご本人の意向に沿った生活を送ることができるように検討していきたい。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの影響もあり、食事関係のかかわりを行えていない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食べる楽しみだけでなく、準備や片づける楽しみなども一緒に味わえるようにしていきたい。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の摂取量などを考えながら水分量に関しては1日1リットルを最低限の目安として摂取してもらっている。			出来るだけご本人に合った摂取量を目指してケアを行って行きたい。
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日、1日3回食後に口腔ケアを行い、1週間に1度、希望者には専門職による医療とケアを受けてもらっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の毎食後の口腔ケアと専門職との連携により、口腔内の清潔に努めたい。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬や医療も入れながら、食事などを工夫している。また、できる限りご自分で排泄できるようにし、できないところを理解してポイントでケアを行うようにしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る限り自分の力で排泄が出来るように意識しながら、チェック表に基づいて定期的に声掛けをしている。また、排便については医師と相談しながら看護師にアドバイスを求めながらケアを行って行く。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴できるタイミングを見ながら声をかけている。嫌がられる時は無理強いせず、違う方に入ってもらうなどしている。			入浴のタイミングをできるだけご本人のタイミングに合わせるように意識しながらケアを行っていきたい。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その時々でお昼寝を促したり、ソファでくつろいでもらう時間を作ってもらい休息を促している。			定期的に昼寝をしてもらったり、体調に合わせて休んでもらえるように声をかけ、休息してもらえる時間を作り、一日を充実してすごしてもらえるように心がける。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬が届いたときに用法を確認すると同時に薬情を確認して薬の効果等も確認を行っている。		A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬情をチェックし、個々の利用者の薬について把握しておく。全職員が把握できるように心がける。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの影響があり外出や大勢での行事は満足に行えていないが、日々のレクリエーションに目標を決めて毎日楽しめるように工夫をしている。			コロナの影響で外出はできないがホーム内でのレクリエーションが充実するように心がける。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出については、ベランダで日光浴をもらうか、施設敷地内の散歩にとどめている。	近隣は人通りも少なく公園まで散歩くらいは実施してほしい。		介護事業部と連携をとりながら柔軟に対処できるようにしていきたい。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	現金が手元ないと混乱してしまう方については少額持ってもらっているが、金銭管理は基本行ってもらっていない。			金銭管理については職員で出来る限り管理を行い、大切な財を紛失しないことを目標にしたい。

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人からの申し出がある場合はすぐに電話をしてもらい、ご家族に対しても希望がある時は本人にかわりやり取りをしてもらっている。			ご家族からの申し出がある場合だけでなく、ホームの用事などで電話をした場合に電話を替わるなどの工夫もしていきたい。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自力で歩行ができる方に関して、家具等で工夫をしている。季節感については職員が手作りをして季節ごとの飾りをリビング内に行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節ごとの飾りなどを職員だけでなく利用者とも作成し、季節を感じて頂ける工夫をしていきたい。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	現状で施設内での暮らしに限定され、家族等、好きな人に会うことも制限されており、満足に行えていない。			外出など制限される中で少しでも意向を反映できるよう工夫をしていきたい。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会話の中で家族の話がされたり、昔の写真を見ながら昔話をしたりしている。			利用者の昔の話や写真などを活用し、今だけでなく思い出も大切にできるケアを行っていきたい。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の状況を記録をもとに職員だけでなく、関係職種とも共有し、できる限り希望に沿ったケアが行えるように努めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療職やリハビリ職と連携を取りながら利用者が受けるケアについていろんな側面から支援をしていけるように工夫をしていきたい、
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共同生活ということですべての要望に応えられないところもあるができる限り本人の希望に添えるように努めている。			共同生活という側面も受け入れてもらいつつ、その中で一人ひとりのペースを考えながらケアをいきたい。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の協力も得ながら、なじみの物や季節のイベントの服着てもらったりしながら生活してもらっている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時からなじみの物を持ってきてもらうように声をかけ、ケアの中から得られた情報からもご本人の生活に適した物を持ってきてもらうように工夫をしている。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの影響があり、現状ではほぼできていない。			コロナの影響で戸外への外出はできないがホーム内での行事が充実するように努めたい。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家事の場面で役割を持ってもらったり、入居者が困ったときなどに一緒にかかわってもらうなどをしてもらっている。			家事や利用者との関りの中で出来る限り多くの役割を持ち、生きがいを作って生活してもらえるように意識していきたい。
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	役割や入居者同士でかかわりを持ってもらい、職員がねぎらうことによりいきいきと過ごせる場面を作っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の暮らしが充実したものとなるように、カンファレンス等で利用者の役割などについて職員だけで検討するだけでなく利用者本人の声を取り入れながらケアに取り組んでいきたい。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域や近隣との交流は当ホームの大きな課題である。			社会との関りを少しでも持てるように努めていきたい。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員と関わることで笑顔が見えたり安心されている様子が日々見られている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々充実した生活を送って頂けるように職員がケアの底上げを行い、何をすべきかについて常に考えることが出来るチームを作っていきたい。